

預金積金および貸出金の状況

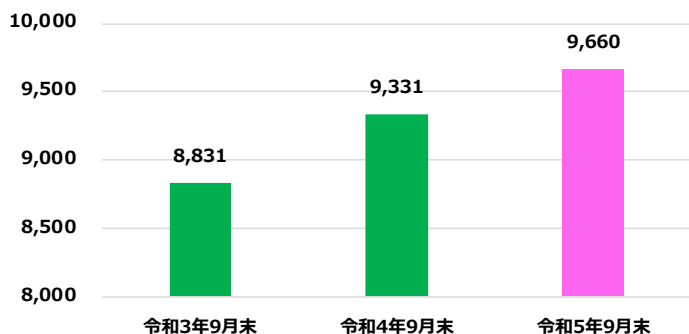
預金積金残高

9,660 億円

キャンペーン定期預金の取扱いなどにより、多くの方からお預け入れをいただいた結果、預金積金残高は前年同月比 329 億円増加し、9,660 億円となりました。

(単位：億円)

預金積金残高



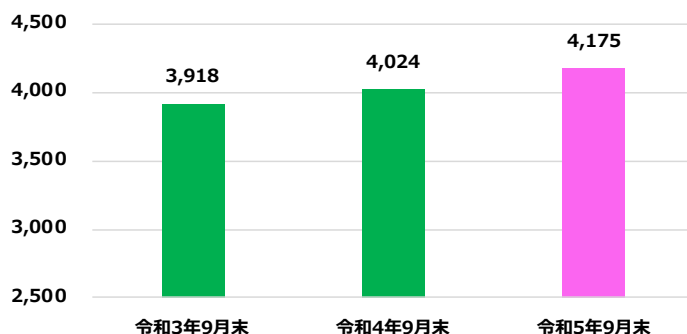
貸出金残高

4,175 億円

事業者向けの貸出を中心に堅調に推移した結果、貸出金残高は前年同月比 151 億円増加し、4,175 億円となりました。なお、当金庫の貸出金は、特定の業種に集中することなく、様々な業種のお客さまにご利用いただいております。

(単位：億円)

貸出金残高



収益の状況

当期純利益

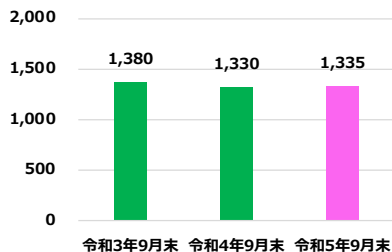
14 億円

令和5年9月末の当期純利益は前年同月比 1 億 3 百万円増加し、14 億 19 百万円となりました。

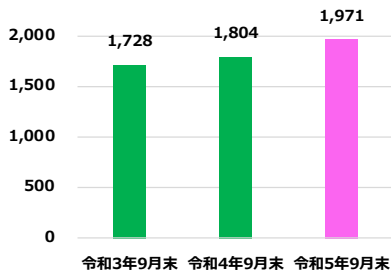
また、コア業務純益は前年同月比 37 百万円増加し、16 億 88 百万円、経常利益は前年同月比 1 億 67 百万円増加し、19 億 71 百万円となりました。

【収益の推移】 (単位：百万円)

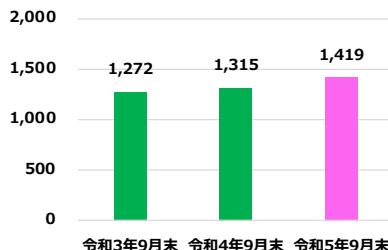
業務純益



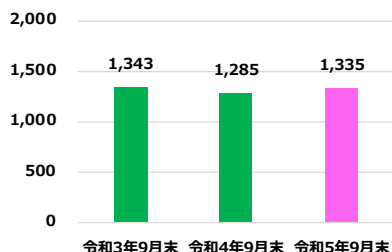
経常利益



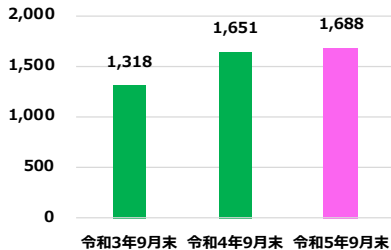
当期純利益



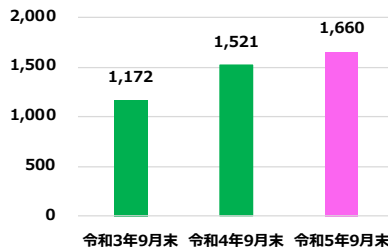
実質業務純益



コア業務純益



コア業務純益
(投資信託解約益除く)



自己資本の状況

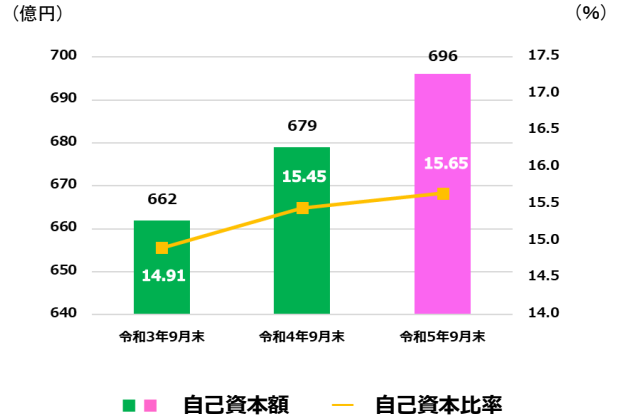
自己資本比率
(単体ベース)

15.65%

自己資本比率は、リスクの度合いに応じて換算した資産に対する、出資金や内部留保等の自己資本の割合のことで、金融機関の健全性を示す重要な指標のひとつです。

令和5年9月末の自己資本比率は15.65%となり、引続き国内基準(4%)を大きく上回る健全性を維持しております。

今後とも、皆さまに安心してご利用いただけるよう、自己資本の充実に努めてまいります。



不良債権の状況

不良債権比率

3.01%

(信用金庫法開示債権(リスク管理債権)及び金融再生法開示債権ベース)

令和5年9月末の不良債権残高は126億96百万円となり、不良債権比率は3.01%となりました。

この内、担保・保証および貸倒引当金で119億75百万円、94.31%がカバーされております。残りの不良債権残高7億21百万円も潤沢な自己資本696億87百万円によりカバーされ、不良債権に対する備えは万全です。

(単位:百万円)

	令和4年9月末	令和5年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,085	1,782
危険債権	11,617	10,914
要管理債権	—	—
三月以上延滞債権	—	—
貸出条件緩和債権	—	—
小計	13,703	12,696
保全額	13,067	11,975
個別貸倒引当金	2,048	1,596
一般貸倒引当金	—	—
担保・保証等	11,018	10,378
保全率(%)	95.35	94.31
引当率(%)	76.30	68.86
正常債権	392,662	408,611
総与信残高	406,366	421,308

有価証券の時価情報

◆その他有価証券の含み(損)益の状況

(単位:百万円)

	令和5年9月末			
	時価	含み(損)益	うち益	うち損
株式	2,295	324	340	15
債券	387,850	△ 23,957	179	24,136
その他	33,330	1,846	2,670	823
合計	423,476	△ 21,785	3,189	24,975

(注)「その他」は、外国証券および投資信託等です。

◆満期保有目的の債券および子会社・関連会社株式の含み(損)益の状況

(単位:百万円)

	令和5年9月末			
	時価	含み(損)益	うち益	うち損
満期保有目的の債券	—	—	—	—
子会社・関連会社株式	22	—	—	—
合計	22	—	—	—

(注)「子会社・関連会社株式」は、帳簿価格を時価としております。